

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：一般警察活動費

事業名 採用等業務費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 警務部 警務課 電話番号：058-271-2424 (内 2611)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,286 千円 (前年度予算額：5,298 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 5,298 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,298 |
| 要求額 | 5,286 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,286 |
| 決定額 | 5,286 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,286 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

毎年100人規模の退職補充が続く中で、近年の人口減少に伴う就職適齢人口の減少などにより、警察官及び警察職員の採用を取り巻く状況は厳しく、受験者の減少は組織において極めて深刻な問題である。

優秀な人材を確保するためには、募集活動のターゲットを県内出身者に限らず、全国から志望者を呼び込む対策が急務である。

従前の広報手法にとどまらず、インターネットを利用するなど就職活動に資する新しいツールの活用とリクルーター活動の強化により、今まで以上に創意工夫し、積極的な募集活動を展開しなければならない。

(2) 事業内容

- ・ 募集用各種広報媒体の作成
- ・ 各種メディアやインターネット、就職情報誌を活用した募集広報
- ・ 民間企業等が実施する各種ガイダンス等への参加
- ・ 県外におけるリクルーターの活動

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県の警察職員の採用に関するものであり、より優秀な人材の雇用を求めることは公務員として当然のことで県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

有り【感染症対策強化事業費（採用業務）】

類似事業については、コロナ禍における採用活動（非対面型）に特化した事業であり、本事業と重複するものではない。

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|---|
| 旅費 | 281 | リクルーター活動用 |
| 需用費 | 1,257 | 警察官募集広報用横断幕、ポスター、パンフレット等の作成、募集広報用クリアファイル、紙手提げ袋の作成 |
| 役務費 | 487 | 採用募集に関する各種郵便料、就職情報誌への広報掲示費、体験型説明会参加者傷害保険料 |
| 委託料 | 1,161 | 募集広報用パンフレット等デザイン委託 |
| その他 | 2,100 | 就職ガイダンス会場ブースの使用 |
| 合計 | 5,286 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-③ 犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調書（県単独補助金除く）

| | |
|-------------------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 警察官等の大量退職期が続く中、将来の岐阜県の治安を担う優秀な人材を確保するため、積極的かつ効果的な募集活動を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | R2年度 実績 | R3年度 目標 | R4年度 目標 | 終期目標 (R5) | 達成率 |
|--------------------|-------|------------|------------|------------|--------------|-----|
| | | | | | | % |
| 警察官採用予定 (公示) 人数 | / | 105 人 | / | / | / | % |
| 警察官採用人数 | / | 95 人 | / | / | / | % |

○指標を設定することができない場合の理由

受験者確保のための広報活動を事業目的としており、目標を示すことは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|---|
| 令和2年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンスブース使用実績 名古屋6回、岐阜4回 計10回 ・警察学校オープンキャンパス 計1回 ・体験型業務説明会（各執行隊等見学） 計3回 ・インターンシップ 1回 |
| 令和3年度 | 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__% |
| 令和4年度 | 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__% |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| <p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p> | |
| (評価) 3 | <p>組織運営において退職者補充は当然であり、更に組織基盤の強化を図るには、多数の受験者を獲得することが必要不可欠であることから事業の必要性は高い。</p> |
| <p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p> | |
| (評価) 2 | <p>令和3年度から電子申請による採用申込みが可能となり、就職ガイダンス等に参加した者やインターネットから採用情報を入手した者の受験申込みが更に増加しており、事業効果が現れている。</p> |
| <p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p> | |
| (評価) 1 | <p>人事担当者や採用業務推進員に指定した若手警察職員を積極的に活用して合同企業説明会や大学学内セミナー等へ対応しており、効率化を図っている。</p> |

(今後の課題)

| |
|--|
| <p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 就職適齢人口の減少により、採用情勢は厳しい状況にある。県内外の大学・高校への訪問活動、就職ガイダンス及びオンラインによる説明会等を積極的に推進する必要がある。</p> |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 体験型・対面型説明会の開催やインターネット等の各種広報媒体を積極的に活用して、より幅広く受験者層にアプローチを図り、優秀な人材の確保に取り組む。</p> |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|-------------------------------|--------------|
| <p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p> | <p>【〇〇課】</p> |
| <p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p> | |